

舞鶴ユネスコ協会から、春日丘高等学校の ESD 実践報告およびシンポジニストとしての依頼があり、ユネスコ担当の大岡と 2 年生の油谷・田嶋が報告、シンポジウムに参加しました。全体像は大岡がこの数年間の活動を報告し、2 名の生徒は行った活動とそこでどのような学びや課題に気づいたのかを報告しました。また、舞鶴西高校と日星高校の各ボランティア部が、東日本の訪問・活動報告、日常の取組等を報告しました。

シンポジウムでは「参加した高校生が ESD に取り組んで考えていること」をテーマに会場からや高校生相互の質問などで活発に討論が行われました。終了後、参加した各校の生徒や、ユネスコ協会の方々から非常に活発でよい会になったと感想や講評をいただきました。特に本校生徒への高い評価を各所でいただきました。本校生にとっても 30 分間のプレゼンとシンポジウムと非常に良い機会をいただきました。



2 年田嶋

他の高校生や、大人の方たちと自身の高校の ESD 活動を報告し合う機会はあまり無かったため、今回参加できてとても良かったと思っています。報告の時間は決められていたので、あまり詳しくは話すことはできず残念でしたが、私達の活動について少しは知っていただけたのではないかと思います。また、私自身、自分がこれまで行った活動を見直すことができる、いい機会になりました。参加した一つ一つのプロジェクトで自分が何を経験し、何を感じたのか、細かいところまで思い出すことができました。



報告会で他の高校の報告を聞く中で、西舞鶴高校と日星高校は私達と同じく東北の被災地に訪れていることを知りました。ボランティアを行う場所は同じでも、高校によって行うことが違うことに気づき、私達がこれから活動していく中で、なにかのヒントになればと思います。また、今回、同年代の他校の生徒の皆さんと関わりを持つことができたので、この繋がりを大切にして、またなにかの活動で一緒にできればと思っています。

2 年 油谷

私達は、春日丘高校のユネスコ活動の代表として、舞鶴ユネスコ協会主催 ESD 報告会に参加しました。準備期間が短かったことや、30 分という長い時間のプレゼンが初めてであるということから、報告会の直前までは不安が多くありました。しかし、実際に始まってみると、想像以上に楽しむことが出来ました。自分たちの活動報告をすることが出来たのはもちろん、他の学校の活動について知ることができて、とても良い時間を過ごすことができたと思います。

今回の報告会に参加したほとんどの高校が、東日本大震災の被災地での活動をしていましたが、それぞれ活動の内容が違ったり、時期が違ったりと ESD 活動の幅を感じました。また、私達が参加したことのないような活動に参加していて、



ぜひ私達も挑戦してみたいと思いました。シンポジウムではお互いに質問し合うことで、理解が深まり、これからの活動への意欲が一層増しました。

この報告会での繋がりを大切にしながら、これからの活動にも繋げていきたいと思っています。そして、一緒に ESD 活動に参加することを心待ちにしています。

